



11/9 (WED)

【認知症ケア研修】当事者主体のサポートに必要なことは？

Inプランチ北長瀬内ハッシュタグ  
19:00-20:00

instructor 宮本憲男氏 (きのこ老人保健施設長)

若年性認知症当事者の丹野智文さんを岡山にお招きし、多くの活動を共にしている宮本先生。その関わりを通して実感されたことは、「認知症は一つの個性」であること。特別な人ではなく普通にかかわるということが関係性を構築していくうえで大切なポイントであることが学べるセミナーです。



11/21 (MON)

食事姿勢のポジショニング～車いすの選択ポイントを学ぶ～

Inプランチ北長瀬内ハッシュタグ  
19:00-20:00

instructor 妹尾郷史氏 (言語聴覚士)  
藤井直人氏 (ポジショニング講師)

現場において食事姿勢の検討をする際に、普通型車いすを使用し続けた方が良いのか、ティルトリクライニング車いすをどのタイミングで導入した方が良いのかで悩まれていないでしょうか？今回は症例別に姿勢調整を実践しながら解説していきます。



12/8 (THU)

高齢者虐待における基礎知識と権利擁護

Inプランチ北長瀬内ハッシュタグ  
19:00-20:00

instructor 森亮介氏 (社会福祉士)

パブリック法律事務所で成年後見人として活躍されている社会福祉士の森亮介先生による、「高齢者虐待における基礎知識と権利擁護」セミナーです。介護保険事業者の必須研修でもありますので、ぜひご参加ください。

参加申し込み

右横QRコードからお申込みください。質問フォームにてZOOMの使い方や講師への事前質問など受付中です。info@amepoke.jpまたは086-250-2555 (代表) まで



ケーキ付♪

セミナー情報随時更新  
セミナー情報サイト



秋の健康レシピ

「トマトバジルスープ」

アボカドの良質な油がトマトのリコピンの吸収をUPさせます。またアボカドのビタミンB1を玉ねぎやニンニクの硫化アリルが吸収を促し、代謝の良い体を作ります。



材料

- メキシコ産アボカド …… 1個
- トマト …… 7個
- チキンスープ …… 950ml
- 生クリーム …… 1カップ
- 玉ねぎ(みじん切り) …… 1個
- オレガノ …… 小さじ1
- ニンニク(みじん切り) …… 大きじ1
- バジルの葉 …… 5枚
- 塩・こしょう …… 適宜

作り方

1. 鍋に油を引き、トマトとニンニクを炒めてください。塩、こしょう、オレガノ、バジルを加えてください。最後にチキンスープを加え、15分程度、混ぜながら温めます。
2. 1を火から下ろし、生クリームを加えてスープ皿に注いでください。
3. アボカドを小さく切り、スープに浮かべてください。お好みでサワークリームを添えて完成です。

アメポケ

発行：岡山市南区新保1-3-4 アメポケ株式会社アークリーヴ  
086-250-2555 (代表)

TAKE FREE

岡山県の医療福祉業界へ届ける、新しい情報サイト



特集

言語聴覚士 妹尾郷史先生へ密着

予測できない誤嚥性肺炎をゼロへ

アメポケとは？

岡山県の医療福祉業界の方々へのステップアップを目的とした、学や面白さの詰まった情報満載の動画配信サイト。専門的なことから、働き方やセルフケアなどが気軽に学べます。講師のほとんどが岡山の専門家で利用料無料！

利用料無料

短時間で閲覧可能

岡山県の講師が多数出演

講師への相談もできる

ポイント貯めて景品GET

詳細はHPをチェック



アメポケ  
http://amepoke.jp/lp

詳細はHPをご覧ください



まずはアメポケ  
LINE公式アカウント  
からアクセス！



最新情報から  
動画リクエストまで、  
LINEなら簡単！

# 妹尾 郷史氏

支縁の羽はねる代表 言語聴覚士

Instructor File02

支縁の羽はねる代表 言語聴覚士

# 妹尾 郷史氏

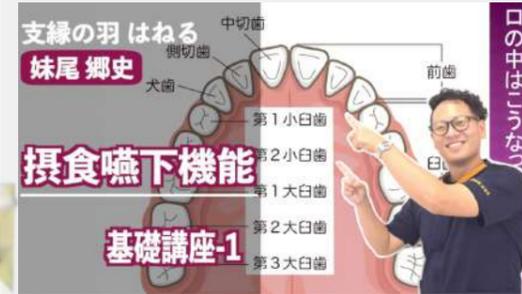
Seno Satoshi



「つばさクリニック」の言語聴覚士として、訪問リハビリを提供。  
また今までの経験を元に「支縁の羽はねる」という事業で訪問歯科、訪問看護ステーション、介護施設等に言語・嚥下コンサルティングを行っている。  
その他には地域育成のため、専門職集団「福祉のまちづくりネットワーク かけはしの会」を創設し、福祉に準じた出前講座や健康相談イベントを提供している。

「予測できない  
誤嚥性肺炎を無くしたい」

## Recommend video ▶ 「STによる摂食嚥下機能基礎講座【Part.1】」



STの妹尾氏による摂食嚥下機能基礎講座【Part.1】です。  
Part.3までのシリーズ。  
基礎を学び、誤嚥性肺炎の減少に向けて知識をつけましょう！

動画はこちら→



## Recommend video ▶ 「食事姿勢の作り方【Part.1】」



STの妹尾氏による食事姿勢の作り方【Part.1 電動ベッドEmi】です。  
Part.3までのシリーズ。  
ちょっとした工夫で食事のしやすさがすごく変わります。  
自分にも相手にも優しい工夫を身につけませんか？

動画はこちら→



## Work place ▶ 医療法人 つばさクリニック

24時間の安心の提供  
早期退院・重症患者さんへの支援  
地域で患者さんを支える

病気や障がいを持っていても、住み慣れた環境での生活を望む患者さんが安心して在宅療養できる医療を提供したいとの思いで、2009年に岡山県内では初めての24時間365日体制の訪問診療専門のクリニックを倉敷市に開院。岡山市においても、在宅医療が必要な方々を支え、安心して自宅での療養を行っていただきたい、そして地域の医療に貢献したいという思いで、2014年に岡山市で【つばさクリニック岡山】を開院。  
つばさクリニックは、複数の医師体制でグループ診療を行い、お家や施設で過ごしたいという患者さまの思いを支えている。またこ地域医療に貢献出来るよう、「カフェつばさ」など様々な取り組みを行われている。

つばさクリニック HPはこちら→



つばさクリニックにて在宅の訪問リハビリ業務に従事。また地域の言語聴覚士が少ないこと、嚥下分野や子どもの言語発達は言語聴覚士以外の職種でも担えるという考えのもと、「敬育」を理念に人材育成や言語、嚥下に特化したコンサルティングを行う「支縁の羽はねる」の代表として活動している。それ以外にも、町興しをしたいと考え、介護予防を中心として活動している「福祉のまちづくりネットワーク かけはしの会」会長、他にも失語症者に対してコミュニケーションをする場づくりがしたいと考え、「失語症友の会アトム」の会長をしている。これだけ多岐にわたる活動には、どのような背景があるのか。

「まずは言語聴覚士が現場でリハビリをするだけではなく、いろんなところと繋がりが持てて連携ができる職種と繋がっています。それを存分に活かそうとすると、現場のリハビリをしているだけでは難しくなりました。だから自分で一つ一つの事業を通して具体化しています。

私自身、人と関わることが好きなので、私と関わる相手が笑顔になれることをしたいと思っています。

元々は高校時代にヘルパーの資格を取得して学生という立場で介護現場に入った際、社会人として相手をしてくれた、喜んでくれた笑顔や感謝がすごく響いて、今の活動をするきっかけになったと思っています。そして話すことや食べることが好きなので、それが上手いかなにかの方に寄り添いたいという思いから言語聴覚士を取得しました。なので専門的な知識や技術を活かして笑顔を広めていっています。」

「今後の目標ですが、一つは言語聴覚士は保険算定の中で働いていることが多いと感じており、もっと保険算定が絡まないところに出ていけるような基盤を作りたいと考えています。もう一つは、超高齢化社会、少子化が進む中、日本は世界から今以上に注目されると思います。その時に、日本に面白い言語聴覚士がいると認知してもらいたい。これ、結構真剣な目標です。

今アメボケでは無料で動画を配信しています。きつと「分野を知れるきっかけになる」と思います。そのきっかけが増えることで、言語聴覚士が関わっていない環境でも「話すことや食べることが楽しめる方がどんどん増えていく」それってなんかワクワクしませんか。

自分の口で好きなものを食べたい。相手に自分の意思を伝えたい。

生きていく上でとても大切な事ですが、これを言語聴覚士がリハビリで関わるだけでは足りません。周りの方々ができる範囲で嚥下機能や言語発達に関われる。そういう社会の実現に向けて活動しています。」

妹尾先生のお話を伺うと、多岐にわたる活動全てが共通の目標に向けて一貫しているように感じました。自分はどういう目標があるのか、それに向けて自分は何ができる、何ができないのか。では、誰の力を借りる必要があるのか。具体的に見据え、着実に進んでいく妹尾先生の今後の活動に目が離せません。